シンポジウム終了後、「Abstracts for the International Symposium of the Princess Takamatsu Cancer Research Fund」を編集刊行する。

- (2) 本シンポジウムの特別セッションにおいて、中原記念講演を実施する。本講演は、当財団の国際シンポジウムをはじめ学術活動の基盤確立に尽力された故中原和郎博士（国立がんセンター初代研究所長、第5代総長）の功績を称え遺徳を偲ぶ趣旨で行うものであり、当年度の講演者は、Jedd D. Wolchok 博士（Meyer Director, Sandra and Edward Meyer Cancer Center）を予定している。講演者には、記念の楯と副賞 50 万円を贈呈する。

4. 国際講演会の開催（昭和56年度創設）

がん研究に関する講演会及び研究会開催の一つとして、顕著な業績を挙げた外国の著名な研究者を招聘し、国内3か所の研究機関で研究者を対象とした講演を行う。（講演者、時期、場所ともに未定）

講演者候補は次のとおり。

- (1) 第一候補
Carl June 博士
ペレルマン医科大学細胞免疫療法センター所長
- (2) 第二候補
Dana Pe'er 博士
メモリアル・スローン・ケタリングがんセンター計算システム生物学部門長
- (3) 第三候補
Robert Weinberg 博士
マサチューセッツ工科大学教授

5. AACR高松宮妃記念講演会開催の助成（平成19年度創設）

わが国のみならず世界のがん研究の振興、研究者の激励に多大の貢献を果された故高松宮妃殿下のご功績を広く世界に顕彰し、がんの研究に関する国際交流とその助成として、米国がん学会（AACR）との共催で記念講演会を開催する。

講演会は、毎年春の AACR 年会において行われ、講演者には記念の楯と副賞 1 万ドルを贈呈する。

本年度は、AACR 選考委員会において選考された講演者により、4 月 25 日から 30 日、イリノイ州シカゴで開催される AACR 年会 2025 において実施される。

当財団は、賞金を含む運営資金として 300 万円を拠出するとともに、例年同年会に当財団代表者を派遣することとし、本年度も昨年度に引き続き学術委員会委員の村上善則先生の出席を予定している。

なお本事業は、2007 年から 10 年間の契約の下実施しているが、平成 29 年(2017)度に再契約し、10 年間の継続実施を AACR と合意（平成 28 年 3 月 11 日理事会決議）している。

6. 国際シンポジウム開催の助成（平成26年度創設）

がんに関する講演会及び研究会開催の助成として、平成 26 年度以降、日本国内においてがん研究に関する学会等の諸団体が主催し、がん研究の進展に資する国際シンポジウムに対して助成を行う。

＜助成先＞日本癌学会が主催する学術総会における JCA-AACR ジョイントシンポジアの共催

日本癌学会が、令和 7 年 9 月に金沢で開催する学術総会における AACR との共催国際シンポジウムに対し、同シンポジウム開催に必要な費用の一部 500 万円を助成し、後援する。

日本癌学会は、明治 41 年設立の癌研究会を母体として、昭和 16 年に「がん研究の発達を図る」ために設立された学会であり、その専門分野は基礎研究から臨床研究までと幅広く、約 15,000 人の会員を擁するがん分野における日本最古最大の学会である。

7. その他

この法人の目的を達成するために必要な事業として、機関誌「CANCER」の発刊などの活動を行う。

以上